

# 週間漁海況情報—第 22 号

平成 27 年 6 月 9 日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

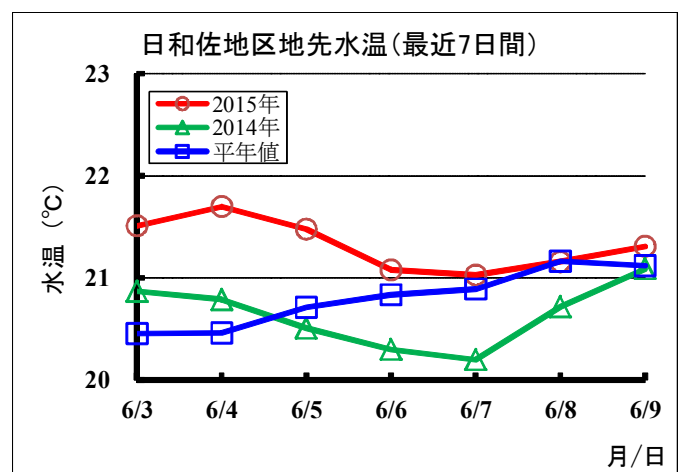
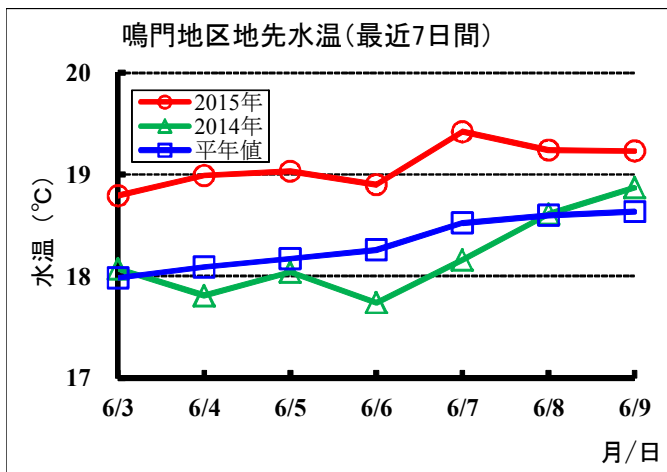
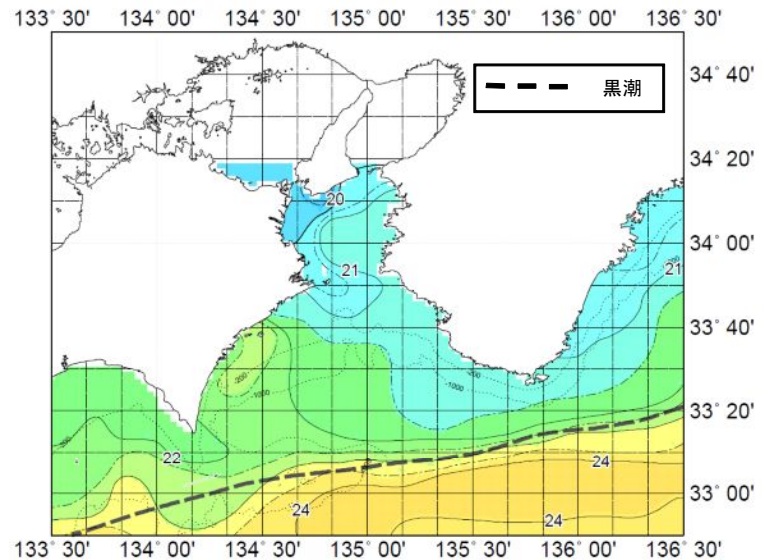
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図 (H27. 6. 9) を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は 22 ~ 24℃ 台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で 19℃ 台、紀伊水道では 19 ~ 21℃ 台、海部沿岸は 20 ~ 22℃ 台である。紀伊水道外域では 21℃ 台の水域に広く覆われ、牟岐から室戸岬にかけては 22℃ 台の水域に覆われている。



**地先水温:** 最近 7 日間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の 18.8 ~ 19.4℃、日和佐地区は「平年並み」~「やや高め」の 21.0 ~ 21.7℃、牟岐地区は「平年並み」~「高め」の 21.6 ~ 22.8℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並: ±0.49 以下, やや高め (やや低め): ±0.50 ~ 1.49, 高め (低め): ±1.50 ~ 2.49, かなり高め (かなり低め): ±2.50 以上

\* 平年値 鳴門地区: 1981 ~ 2010 年の平均値、日和佐地区: 1982 ~ 2010 年の平均値

## 2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸でアカムツが0.5トン（1日1隻あたり25kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でマイワシが30.3トン（同313kg）、ウルメイワシが5.0トン（同83kg）、小主体にマアジが0.9トン（同24kg）、とびうお類が0.4トン（同8kg）、スルメイカが0.3トン（同9kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸でいわし類が6.2トン（同1037kg）、大主体にマアジが1.4トン（同237kg）、マルソウダが2.1トン（同350kg）、小主体にシイラが3.1トン（同521kg）、小主体にスルメイカが1.1トン（同180kg）、平均重量60kgのクロマグロが0.4トン（同70kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にマアジが0.2トン（同11kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが55.9トン（同513kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2015年6月1日～2015年6月7日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	アカムツ	21	535	25		
小型定置網		マイワシ	97	30,329	313		
		ウルメイワシ	61	5,050	83		
		マアジ	36	873	24	小主体	
		とびうお類	44	358	8		
		スルメイカ	29	266	9		
		いわし類	6	6,223	1,037		
大型定置網		マアジ	6	1,422	237	大主体	
		マルソウダ	6	2,098	350		
		シイラ	6	3,123	521	小主体	
		スルメイカ	6	1,079	180	小主体	
		クロマグロ	6	419	70	平均重量60kg	
釣り			マアジ	20	213	11	大主体
パッチ網		紀伊水道	シラス	109	55,875	513	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の6月2日～6月8日には、海部沿岸では、小型定置網でマイワシが7.8トン、ウルメイワシが1.5トン、カタクチイワシが0.3トン、小主体にサバ類が1.3トン、大型定置網でイワシ類が7.8トン、特大・大主体にマアジが1.5トン、小主体にサバ類が2.8トン、マルソウダが0.9トン、大主体にシイラが0.9トン、特大・大主体にイサキが0.3トン、メジロが0.2トン水揚げされた。紀伊水道では、パッチ網でシラスが23.3トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の19℃台、日和佐地先で「平年並み」の21～22℃台で推移する見込み。